

競技注意事項

1. 規則

競技は2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。

2. 練習

- 練習は、第2陸上競技場とし、安全面に十分注意して行うこと。第2競技場の使用は選手のみとする。
- 第2陸上競技場の開門は7:30とする。
- 会場への投擲物持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に本競技場に入場してから行う。
- フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- 器具を使用後は、手洗いをする。

3. 競技場とスパイクの使用（TR5.2に準ずる）

- 本競技場は全天候型である。
- 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さについては、TR5.13に準ずる。

4. 招集

- 選手は競技開始の120分前～60分前までにJAAF健康管理チェックシート兼大会出場承諾書をTICへ提出すること。（押印欄に押印のないものは受け付けない。未提出者は競技に参加することはできない。）
- 選手受付（招集）をしていない者は棄権とみなし出場を許さない。
- 選手（長距離）は、TICにてシューズの靴底の厚さのチェックを受けなければならない。その他の種目については、各種目の招集場所で確認してもらうこと。
- TICで選手受付を済ませた後、集合完了時刻（集合完了時刻については、「競技順序」を確認すること）までに各競技のスタート付近に集合すること。なお、荷物は各自で管理すること。
- トラック種目の競技者は、出発係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。

5. 入退場

- 入場・退場については競技役員の指示・誘導に従う。入退場については第1ゲート及び第4ゲートとする。
- トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1ゲート付近臨時手洗い場で手洗いをしてスタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻る。
- フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って臨時手洗い場もしくは雨天練習場で手洗いをしてベンチに戻る。

6. アスリートビブス

- アスリートビブスは千葉県中学校体育連盟陸上競技専門部及び千葉県高等学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝の組・走路順は本部で抽選し、アナウンス及び速報サイトにて掲載する。

8. 棒高跳について支柱移動申告について

- 支柱移動申告について
各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。
- バーの上げ方について
① 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	備考
U16B女子 棒高跳	2m40・2m80	2m50	2m60	2m70	2m80	2m85	以降5cmずつ上げる

- ② 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（第1位決定戦）のためのバーの上げ下げの範囲は5cmとする。〔TR26.9.4〕

9. 番組編成

150m, 100mYH, 110mHについては、上位1～4位の4名を中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

10. 計時・競技の抽選

- 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- トラック競技（競走競技、障害走）においてプラス進出者を決める場合（最下位で同タイム者が出たとき）及び、優勝者を決める場合（1位で同タイム者が出たとき）は次の方法で競技を行う。
 - ① 1000分の1秒以上の比較をし、着差の判定をする。
 - ② ①で判定できない場合、決定戦または競技者及び代理人によって抽選をして決定する。

11. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。

12. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、三段跳は3回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) 三段跳の踏切版は男子11m、女子9mの位置に設置する。
- (3) 棒高跳、円盤投、ジャベリックスローで使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。
- (4) コーチングエリアについては、設置しないが、コーチングを行う際はスタンド及び芝生スタンドで行うこと。

13. 用 器 具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）の検査を受けてから使用する。

14. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（予選ラウンドにおいて15分以内、決勝ラウンドは30分以内）に各顧問がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

15. そ の 他

- (1) 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、メインスタンド及びメインスタンド裏のコンコースとする。芝生スタンドの控え場所としての利用は禁止とする。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については競技開始1時間前までに、申込責任者がTICへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) レースを棄権する競技者は欠場届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- (8) 選手は、競技中以外はマスクを着用すること。